



住吉小だより

<http://www.fuchu12s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

電話 042-361-6319

FAX 042-334-0873

府中市立住吉小学校
校長 木下 和紀
令和5年1月10日
令和4年度 第10号

地域の皆様とともに

校長 木下 和紀

新年明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様には、昨年中は住吉小学校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき感謝しております。ありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。

頑張る姿は感動を与える

さて、お正月には「箱根駅伝」をテレビで見るのが恒例となっている方は多いのではないのでしょうか。箱根駅伝は、東京の大手町から箱根の芦ノ湖までの往復217kmを10区間とし、2日に渡り関東の大学がそれぞれの意地と名誉をかけて襷をつなぐ競技です。毎年テレビの視聴率が30%となり、沿道には約100万人が応援するほどの正月の風物詩です。なぜ、それほど多くの方が観戦するのでしょうか。様々な理由があると思いますが、多くの人は自分のお気に入りの大学や選手を応援するために観戦しています。苦しみながらもチームのために全力を出し切る選手の姿や時間制限のために襷をつなぐことができずに悲しむ選手の姿に感動したり涙したりします。また、この日のために1年間練習を重ね、時には怪我や不調に苦しみながらも、乗り越えようと努力してきた姿を想像できるから応援したくなるのだと思います。つまり、選手のひたむきに頑張る姿には、多くの方が感動を覚え、応援をしたくなる素晴らしい力があると考えます。私も毎年感動を覚え、観戦後にはランニングをしてしまうほどです。

保護者の言葉で児童が成長

私は運動会や学芸会の際に児童に次のように話をしています。「皆さんの頑張る姿は、保護者や地域の方に感動を与えることができます。皆さんはそんな素晴らしい力をもっているのだから、自分に自信をもってください。」

2学期の運動会と学芸会において、児童はそれぞれの役割を全うするために練習を重ね、学年のみんなと一体となって一つの目標に向かって努力をしてきました。その成果として、多くの保護者の方から、児童の頑張る姿に感動したとの感想をもらいました。ありがたかったことは、運動会や学芸会の後に、ご家庭でも児童に感動や励ましの言葉を伝えていただいたことです。多くの人から賞賛の言葉をもらえたことが、児童の自信へとつながるとても大きな力になったと感じています。教育活動を通しての児童の成長を、保護者の皆様に後押しをしていただいた、理想的な形であったと感じました。



地域の皆様とともに

「住吉小学校の強み」について教職員にアンケートしたところ、「地域の方々がとても学校に協力的」という意見が多数挙がりました。日頃から学校にご協力いただいていることがよく分かり、とてもありがたいことだと考えます。住吉小学校はこの地域の学校です。住吉小学校の児童は感動を与えることのできる素晴らしい力をもっています。箱根駅伝のように応援していただき、児童にたくさん賞賛の言葉をいただければと考えます。ご協力よろしくお願いいたします。

〈起震車体験：3年生〉

11月25日（金）3年生は、4、5人一組で起震車にのり、最大震度7の揺れを体験しました。激しく揺れる起震車の上で児童たちは必死に倒れまいと、柱につかまっていたいました。

起震車の体験を通して、改めて地震の怖さを痛感した子供たちです。阪神淡路大震災では、大きな揺れによって多くの家が崩れたこと、多くの人がケガをしたこと等のお話を聞き、自分の命を守る避難訓練の大切さを教えてもらうとともに、訓練に参加するときは、家族も守る気持ちを持ち続けることが大切だと教えていただきました。また、学校での避難訓練だけでなく、家に帰ったら倒れてきそうな物や危険な所を確認しておくともよいとも教えていただき、しっかりと返事をしていました。ぜひ、これを機にお子さんと一緒に家の中の危険な場所や、外で被災したときの集合場所などを決めていただければと思います。



〈校内書写展〉

1月16日、17日の2日間、校内書写展を開催します。

今年度もコロナ対策のため、学年ごとに分散して行います。日時、学年は以下のようになります。

○1月16日（月）：1年・3年・5年 保護者の皆様 15：00～16：30

○1月17日（火）：2年・4年・6年 保護者の皆様 15：00～16：30

※各ご家庭1名1回の参観とします。

※保護者の出入り口は児童の昇降口です。

※どの階の作品も鑑賞できます。

※児童と共に鑑賞することはできません。

冬休みに「書き初め」の練習に進んで取り組んでいる姿が見られたのではないのでしょうか。

学校では、冬休みの練習の成果を生かして、一人一人が落ち着いて手本に向かい、気持ちを集中させながら一文字ごとに丁寧に心をこめて清書を仕上げます。子どもの思いのこもった作品は、どれも力作ぞろいです。その思いをぜひ感じ取っていただければ幸いです。校内書写展では、作品を各教室の廊下に掲示します。



〈持久走の取り組みについて〉

1月18日（水）から2月3日（金）まで、各学年で持久走の取り組みがスタートします。体育の時間や休み時間に体力づくりの一環として行います。持久走は友達と競うのではなく、自分のペースで継続して行うことで体力の向上が期待できる活動です。また、持久走は心肺機能を高めることができるため、風邪の予防にもつながる効果も期待できます。今年度、持久走は安全上マスクを外して行います。配慮することがありましたら、担任までご相談ください。なお、大会など発表の場はありませんが、カードなどを使い、自分の頑張りが自分で分かる形で進めていきます。ご家庭でもお声掛けいただけると幸いです。また、睡眠、朝食、検温などのお子さんの健康チェックをお願いします。

（水筒や汗拭きタオルなど、必要に応じて持たせてください。）

※児童の欠席状況などによって、実施期間の変更がある場合があります。ご了承ください。



〈健康観察表の記入について〉

3学期も朝のスマート連絡帳での検温・健康観察を引き続き実施していきます。住吉小では毎朝、担任による検温・健康観察チェックを行っています。検温やカードを忘れた場合には、職員室で副校長が検温をしています。残念なことに、2学期後半は、忘れてくる児童が多くなりました。（1日約30名が職員室に検温に来ます。）職員室に検温に来る児童の中には、スマート連絡帳での送信がされていなかったり、土日、休日の検温がされていなかったりということが目立ちます。ご家庭でも日々の対策（マスク着用、手指消毒、検温・健康観察表の記入など）の確認をお願いします。

また、お子さんやご家族の体調管理を最優先に考え、いつもとは違う状況の時は医師の診察を受けるなど、早め早めの対応をよろしくお願いします。